

第 1 1 回 奈良県河川整備委員会 議事概要

1. 日 時 平成14年 4月18日(木) 14:00~17:00
 2. 場 所 エルトピア奈良 3F大会議室
 3. 出席者 委 員(敬称略) 池淵周一、澤井健二、木村 優、御勢久右衛門
萩野芳彦、近江昌司、北口照美、榊原和彦、伊藤章子
奈良県 土木部次長(技術)、河川課長 ほか
 4. 議 事
 - (1) 第10回委員会の議事概要の確認
 - 事務局より、第10回委員会議事概要の説明。
 - 各委員により了承された。
 - (2) 河川整備計画(原案)に寄せられたご意見と回答について説明
 - 事務局より、住民及び委員会での意見と河川管理者の回答について資料により説明。
 - 各委員から次のような意見があった。
 - ・回答がされていない意見もある。
 - ・寄せられた意見も非常によいものであり、もう少し丁寧な回答をすれば、非常に良い資料になる。
 - ・回答の仕方の中でもう少し強弱が必要。
 - ・回答の仕方、整備計画に既に含まれているもの、整備計画の取り入れたもの、河川管理者が取り組むもの、他の部局と連携し取り組むもの、及びできないものといった仕分けが必要。
 - ・委員会で出た意見が見えにくいように思う。
 - (3) 大和川水系(平城圏域)河川整備計画(原案)の修文について説明
 - 事務局より、河川整備計画(原案)の修文について資料により説明。
 - 各委員から次のような意見があった。
 - ・現時点で把握できる道路の整備やそれに伴う人口の増減等、河川整備に必要な要素について上位計画と整合が必要と思う。
 - ・下水道処理水の還流について、現時点でどのように考えているのか、議論しておいた方がよい。
- (事務局) 長期的な課題として認識し、今後研究していきたい。
- ・「水質改善」に取り組む言葉が多いが、具体的な施策が見えてこないため、実際はどうなのか、というところがわかりにくい。
- (事務局) 下水道の整備が今後進むことを見込んでおり、将来的には、菩提川以外の環境基準点では、環境基準を満足する予測になっています。

- ・河川管理者がめざす、住民と川とのふれあい方をどのように住民におろすかがポイントであると思う。その点についても具体性が見えにくい。
- ・他府県では、50年や100年で河川整備を行っているが、奈良県はなぜ10年なのか、また、岩井川はなぜ100年確率なのかが整備計画に記載されていない。
- ・次回は、寄せられた意見の回答の内容について今日の委員会の意見をふまえ修正していただき、河川整備計画の案を校正し議論したい。